

現代韓日・朝日関係の「棘」

日韓基本条約(1965)の歴史的・現在的考察

第2次安倍政権成立から現在までの8年間で、朝日関係はいうまでもなく韓日関係も急速に悪化しました。最大の原因は、朝鮮人強制連行と日本軍「慰安婦」問題をはじめとする被害者に対する補償と、植民地支配をめぐる歴史認識の問題です。

この間、韓国では2018年10月、大韓民国大法院が韓国人強制動員被害者の訴えを認定し、新日鉄住金（現日本製鉄）に対して賠償を命じる判決を確定させました。これは被害者の声が圧殺され続けてきた戦後補償の歴史のなかで大変画期的なものであり、国際人権法の進展とも歩調の合うものでした。それに対し、日本政府は1965年の日韓請求権協定によって「解決済み」だ、「国際法違反」だと韓国政府を批判し、それに乗じるように政治家・官僚による暴言が続き、マスコミと論壇、サブカルチャーやインターネット上の言論もほぼ韓国批判一色となりました。

日本による朝鮮植民地支配の諸犯罪行為に対する賠償は、本当に1965年の日韓基本条約と日韓請求権協定で「解決済み」なのでしょうか。

そうでないことは学問的にも政治的にもすでに長く指摘されてきました。にもかかわらず、こうした声は無視され、解決とは程遠い歴史修正主義的な主張ばかりが日本では浸透しつつあります。改めて日韓基本条約・日韓請求権協定をめぐる問題の所在をさまざまな角度から検証することで、日本と朝鮮半島とのあいだに突き刺さった「解決済み」という棘を抜き、解決の方向性を歴史から真摯に学ぶ機会にできるのではないかと考えます。

2020年度の文化センターアリラン連続講座は、こうした問題意識に立って企画しました。ぜひご参加ください。

<今年度は、ビデオ会議サービス「Zoom」を使用して、オンラインで開催いたします>

第1回	2020年8月29日(土)	「日韓・日朝関係をどう解きほぐすかー国交正常化交渉の歴史的経過からー」 吉澤文寿 (新潟国際情報大学教授)
第2回	2020年9月26日(土)	「未清算の朝鮮人遺骨問題について」 金哲秀 (朝鮮大学校朝鮮問題研究センター教授)
第3回	2020年10月17日(土)	「在日朝鮮人差別と日韓・日朝関係」 田中宏 (一橋大学名誉教授)
第4回	2020年11月28日(土)	「朝鮮近現代史から考える日本軍「慰安婦」問題」 李玲実 (一橋大学大学院博士課程)
第5回	2020年12月5日(土)	「朝鮮人戦犯一何を裁かれたのか、なぜ、裁かれたのか」 内海愛子 (恵泉女学園大学名誉教授)
第6回	2020年12月19日(土)	「朝鮮民主主義人民共和国と日本の関係ー歴史・現状・課題」 李柄輝 (朝鮮大学校教員)
第7回	2021年1月23日(土)	「朝鮮戦争時の“思想戦”としての日本の報道」 米津篤八 (朝鮮語翻訳家/一橋大学大学院社会学研究科博士課程)
第8回	2021年2月20日(土)	「近代の日本は朝鮮で何をしたのかー日本市民の歴史認識を考える」 中塚明 (奈良女子大学名誉教授)

各回とも14:00~16:30

<参加費>

各回 **500円**（8回まとめてお申込みの場合 **3500円**）

<お申込み>

インターネット上でのお支払い方法を準備中です

準備が整い次第、文化センター・アリランのホームページでお知らせいたします。ご確認ください。

*下記の方法でもお申し込みを受け付けています。あらかじめメールで連絡の上、ご入金ください。

① 入金前にメールにてお申し込みの旨、連絡をお願いします。（メール：info@arirang.or.jp）

- お名前
- 参加を希望する回 をお伝えください。

② 下記の郵便振替口座へ入金をお願いします。

00160-9-651648 文化センター・アリラン

・『アリラン通信』をお持ちの方は、『アリラン通信』の最後にある赤色の払込取扱票をお使いください（手数料がかかりません）。

・複数回まとめてのお申込み、会費納入や寄付とご一緒のお申し込みも歓迎いたします。

<参加方法>

入金を確認しましたら、開催日の1週間前をめどに参加方法（オンライン講座で利用するZoomのリンクとパスワードなど）をメールにて連絡いたします。3日前までに連絡がない場合には、お手数ですが文化センター・アリランまでお問い合わせください。

<お問い合わせ>

NPO 法人 文化センター・アリラン

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-12-1 第二韓国広場ビル 8階

TEL : 03-5272-5141

FAX : 03-3232-0090

メール : info@arirang.or.jp

ホームページ : <http://www.arirang.or.jp/>